

4.7 大学経営基礎講座アンケート

講座総合

1.1 講座全体について(N=16)

| | とても良かった | 良かった | あまり良くなかった | 全く良くなかった |
|--------------------|---------|------|-----------|----------|
| 開催時期及び演習回の時間帯 | 31% | 69% | 0% | 0% |
| 4つのトピックの内容や組み合わせ | 38% | 63% | 0% | 0% |
| 講義回と演習回との組み合わせ | 31% | 25% | 38% | 6% |
| 専門知識と技術との総合性 | 31% | 63% | 6% | 0% |
| 大学経営の現場での役立ち具合 | 44% | 50% | 6% | 0% |
| オンデマンドとオンラインとによる実施 | 63% | 38% | 0% | 0% |
| わからないことがあった時の対応 | 44% | 50% | 6% | 0% |
| 欠席時の対応 | 69% | 31% | 0% | 0% |
| 質問や問い合わせ等の対応 | 63% | 38% | 0% | 0% |
| 全体の満足度 | 50% | 44% | 6% | 0% |

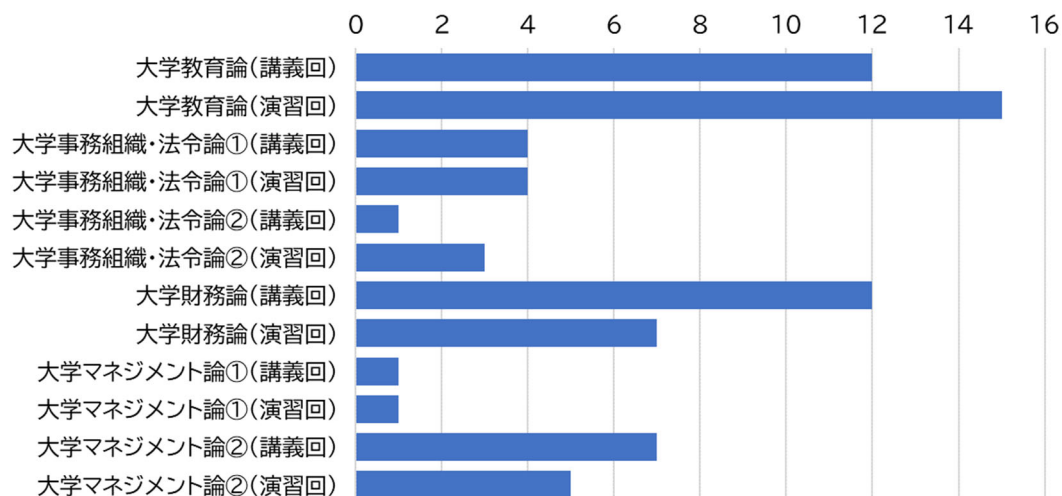
1.2 講座全体についてご意見がありましたら教えてください。

- ・私はこの講座を受講できて、本学の職員に受講を勧めるくらいよかったと考えている。なぜなら、4 カ月で大学経営の全体像のポイントの説明してもらい、必要な資料を提示していただいたからだ。自身でこれらの学びをしようとする「何を知るべきか？」から考えて、必要な資料を収集し、クリティークをしなければならぬ。また、ディスカッションで得られた自身では気づくことができなかつた視点は、受講しなければわからないままだった。これを、独自で行うためにはどれだけの時間を要することかを想像すると絶望する。だからこそ、時間的効率を考えても受講した甲斐があったと改めて思う。また、丁寧な指示やリマインド、ねぎらいの言葉など、受講生に対する思いやりも感じることができた。これは自身の講義でも活かしていけると考えた。正直、様々な業務と重なり目的を見失いそうになったこともあった。それでも最後まで受講できて本当に良かったと実感している。今回、受講する機会を与えていただきありがとうございました。感謝いたします。
- ・講義動画に関しては、全体を通じて、戸村先生や塩田先生のように、ある程度内容を動画そのものでインプットして頂けるのが良かったです。講義動画の中には、「法令等を見ておいてください」という形で、動画は非常に淡泊なものがありました。ご趣旨は非常に理解できるのですが、自分で読んだり検索したりして勉強する時間が取れないからこそ、こうした講座に参加しています。せっかく演習回と講義動画を分けて頂いているのですから、せめて講義動画は丁寧に解説してもらえるとありがたいです。もちろん、逐条解説してほしい、ということではありませんが、「自分で読めば分かるでしょ」ということではなく、その法令規則等ではどのようなことが定めてあるのか、ポイントはどこか、講義者の視点も含めて丁寧に解説してもらえると嬉しかったです。演習回に関しては、戸村先生の回が最も演習回の意義があると感じました。他の回は、受講者同士を知る、ネットワークングには非常に効果的な設計だったかと思いますが、もう少し講師による感想や、講師と受講者とのインタラクティブがあるほうが良かったような気がしました。
- ・8 月～11 月開催であったほうが、年末業務に重ならず良かったかもしれない。演習課題でのオンライン討議の際に、ぼろぼろいろいろな大学の課題等がでてきており、演習回の事後課題としてそれを記録しておく、最終課題の総まとめの作成時期に活かされたかもしれないと感じました(メモはあるのですが、他大学の方に還元する場があっても良いのかなと思いました)。
- ・<良かったこと>
 - ・自分と似たような境遇の他大学職員とともに勉強できる機会であること。
 - ・幅広く大学経営に関する知識を学べること。
 - ・オンデマンド配信の講義のため、自分のペースで学習できること。
 - ・全ての情報が1つ(GoogleClassroom)にまとまっていて、進めやすいこと。
 - ・毎回異なるメンバーでディスカッションができたこと。
 - ・各分野に精通した講師から直接学べたこと。
- ・<要望事項>
 - ・ディスカッションや意見交換の機会が多い中で、講座開始前からお互いをもっと知れる環境があったら、個人的に嬉しかった。演習回では毎回自己紹介(大学名・業務内容)をしていたので、直接かオンラインを問わず、話したことがある／ないの差は、演習回の進行に大きく影響すると思う。
 - ・演習回と講義回の内容に関連性があり見えないものがあり、講義回の復習とは言えない回もあったと感じた。課題を取り組む際に全く講義資料を見ないで済む回も多々あり、知識の習得という観点では、自分は思っていたよりできていないように思い、個人的に反省していると共に、また資料等を見返して勉強したい。
 - ・演習回のディスカッションの時間をより有意義に使えるように、予めスプレッドシートに入力させたり、提出した課題の記載内容を自動で転記するようなスプレッドシートを組めば、より成果の生まれる意見交換の場になると思う。毎回冒頭でスプレッドシートに転記させる沈黙の時間が無駄で、時間がなくなる結果、各自発表しとめるだけで一杯だった回も見られたため。
 - ・説明を増やすと講義時間が長くなるため、調整が難しいと思いますが、基礎を学ぶことを考えると、もっと噛み砕いた説明等があれば、さらに理解が進んだかもしれない。

- ・オンライン講義では体系立てて、大学経営に関することを学ぶことができたように感じています。これまでに別の場所(京大私学経営アカデミー、東京大学大経科目等、日本私立大学連盟の研修)いくつか受講してきても、各論的だったりすることが多く、大学とは？という部分や実務上の部分をすでに知っている人が参加していることが多く自分の知識不足や、土台不足を感じていたのが、日本の大学の背景などを知る良いきっかけになりました。動画上のコメント付記が10月以降は特になかったのが、もう少し語りかけがあってもよいかと感じました。演習面では、正直に書くと、講義の内容と課題に齟齬があるように感じる回が多く、独立して演習を見たときには、頭の体操になったのですが、関連性が少し薄いように感じました。また、課題内容に比してあまり討論できる時間が多くなかったり、改めてエクセルシートに入力が必要になるなど、もう少し効率化できたのではないかと感じる部分もありました。
- ・率直に、本講座を受講して、大変良かったと感じている。もっとも良かったこととして、大学経営に対する考え方のキーワードを多数自分の中に取り込むことができたことである。基礎講座の名のとおり、考えを深めていくのはここからなのだろうが、そのための基盤をこの講座で作ってもらった印象である。受講前よりも、大学内の様々な情報にアンテナが反応するようになったし、大学のこれからについてよく考えるようにもなり、これまでの自身とは大きく変化したと感じているところである。この講座でたくさんの種を与えてもらったことで、自分で何を考えたらよいのか、足がかりができ、学内の研修でもその効果を感じるがあった。次世代には、ぜひ積極的に受講してほしい講座である(本学の研修予算は厳しい状況で、講座の受講費は出ないのだが、それでも自腹を切って受講する価値があると感じた)。
- ・4か月間、大変お世話になりました。後半に他の受講生の方々とお話をする機会を設けていただき、交流することで、自分なりにこの講座に真摯に向き合ってきたつもりだったのですが、勉強や情報収集の努力が全く足りなかったと痛感いたしました。この4か月のために戸村先生はじめ講師陣の先生方がとてつもない時間と労力をかけて構成いただいていたということも、お話で伺えてよかったです。第1回目、ということで大変な運営だったと推察されます。日本ではこのような大学職員の成長の機会が海外に比べまだまだ少ないかと思えます。少子化が進む中、今後の大学存続のためにこのような機会を東北大学という名のある大学から発信することはとても重要かと思えます。今後のより一層の発展を心よりお祈り申し上げます。4か月、お疲れ様でございました。ありがとうございました。
- ・受講生同士が気軽に交流できる場をプログラムの初期から設けることができればよかったです。演習回のあとは自由科目が開講されていましたが、数回程度はそのような機会と他方が、受講生・講師間のやり取りがよりできたように感じます。またオンラインの演習回はもっとあっても良かったように思います。
- ・毎回のグループワークがとても良かったです。自大学以外のお話をディスカッションで気軽に共有できること、共感できること、気づきを貰えること、大変有意義でした。前半の講座では、講義と課題がマッチして取り組みやすかったのですが、後半の講義は講義と課題の共通項が見当たらず(私だけかもしれませんが)取り組みにくかった印象でした。全体を通して満足はかなり高いですが、欲を言えば各講義を更に3~5講座程度追加で聞きたいです！
- ・まずは、このような講座を開講してくださったことに対して感謝申し上げます。大学職員としての基礎知識を広く学び、それを実践に結びつけていくという講座には今まで出会ったことがなく、またそういった講座を受講したいと思っていたため、非常に価値のある講座だと思っています。
- ・まずは、大変貴重な時間に自分も参加させていただけたことを感謝しています。所属大学や所属大学が所属する地区で開催されるSD研修や職員の自発的な勉強会やイベントでは得られない学問的な内容を享受できたことや、課題により頭を使ってアウトプットする時間やそれを全く知らないけれど同業種、関係業界の方々とディスカッションし共有し合う時間を与えていただけたことにより鍛えられたと思っており、4ヶ月という短期間でしたがとても濃い時間を過ごせました。また事務的な御対応も御丁寧で大変有り難く思いました。有難うございます。今回、対面で開催される回は一度もなかったものの、それ故にどこに居ても気軽に受講ができた点や、オンデマンド配信があることで繰り返し講義を見ることができた点、そしてそれが内容的に無理なく受け入れられるものであった点はとても良かったと思えました。他方で、対面ではなくリアルタイム配信で開催される演習回は、グループディスカッションや全体での各受講生の発信が質に影響を与えるものであり、いかに余計なことに時間を割かずにスムーズに実施できるかが重要かと思ひ、そこには工夫する余地があったかと思ひました(後のアンケート項目に記載)。その一つとして、例えばガイダンス回の一環で、自己紹介プラスアイスブレイク回としてのオンライン配信の時間が設定されてもよいかと思ひます(懇談会での集まり具合を見るに、演習回同様に土曜昼か土曜夕刻が無難そうですね)。

科目及びトピック別

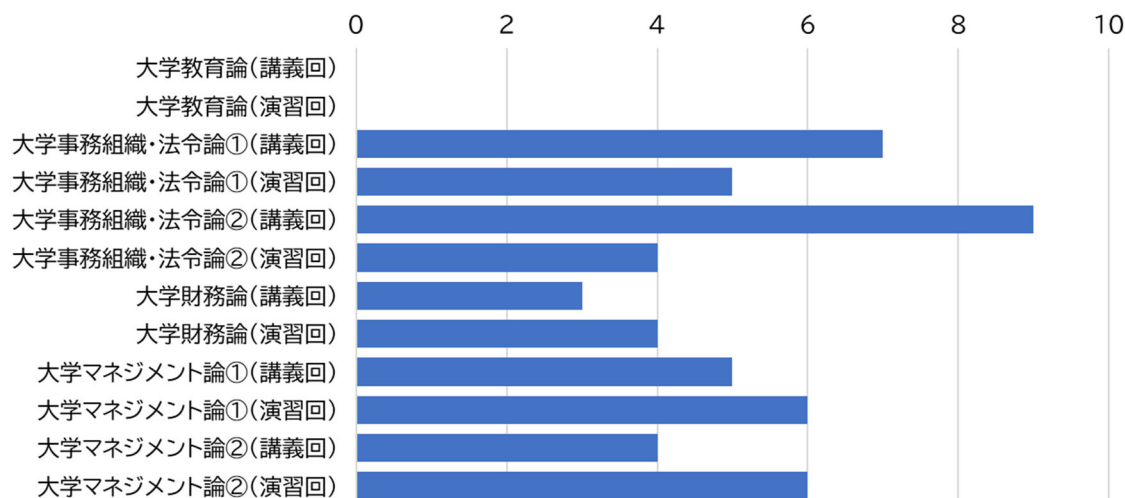
2.1 必修科目のうち、あなたにとって印象に残った(満足した)ものは以下のうちどれですか？
(1人最大5つまで複数回答可)



2.2 2.1 であなたがそのように回答した理由をお書きください。

- ・学生時代に学んだ内容と関連していたため、大学における教育・財務をイメージしやすかったため。
- ・自身の業務で必要だと感じていたから。
- ・講義回の内容が充実していた。演習回でも、受講生の回答を踏まえた解説やコメントが分かりやすかったため。
- ・全体を通して、職員として大切なのはコミュニケーション力と感じました。苦手と思う分野も基礎知識がないと、十分なコミュニケーションが取れないことから、基礎知識の強化と活用方法についてアドバイスのあった上記回を選択しました。
- ・講義と演習回に繋がりがあり、スムーズな理解ができた。講義回も受講者に沿った説明だった印象がある。
- ・知りたいと思っていた内容や今回の受講の内容を期待していた木村先生の授業を受講できたから。
- ・大学教育論は、全ての講義の中で最もわかりやすく体系的にまとめられており、とても面白かったため。大学財務論は、これまで学んだことがなかった内容に丁寧に取り組むことができ、新しい知識を得ることができたため。
- ・大学教育論(演習回:戸村):職種や国籍、国立、私大でいろいろな考え方があり、自分では思いつかなかった価値観や意見を聞くことができ素直に感動したし、8万円払ってこの講座を受講してよかったかもしれない、と思うことができた経験があったから。大学財務論(講義回:篠田):大学が抱えている課題たちに対して「こう」する方法がありますよ、的な他の講義に比べて比較的【具体的】な解決策の提案をしていたのが知識として自分のプラスになったから。
- ・講義のテーマ・課題設定が明確だったため、講師が受講生に求めていることが読み取りやすかったからです。
- ・受講をきっかけとしたプログラムであり、疑問としていたこと、知りたかったことに対して応えていただけたプログラムだったため。より深く学んでいきたい。
- ・大学の歴史については、学ぶ機会がほとんどなく、自身が興味・関心を持たない限りは知らないままになってしまいます。業務内容によっては、大学の歴史を知らなくても業務を遂行することができるかもしれませんが、今後大学経営人材を目指したり、企画力を養ったりするためには知っておくべきことだと思っています。また、講義・演習後に参考文献を紹介していただけたのは非常に嬉しかったです。もちろん、自身で関連書籍を探すことはできますが、専門家からレベルにあった書籍を紹介していただけるのは貴重な機会だと思います。財務については、自身が財務系の部署を経験したことがないため、自身で学ぶことを避けてしまいましたが、財務諸表の見るポイントを教えていただいたことで、以前よりも財務を身近に感じることができるようになり、非常に大きな収穫であったと思っています。
- ・戸村先生の授業に関しては、知識や情報をインプットするだけでなく、受講生参加型な動画で常に頭を働かせて受講できてしかも他の受講生とも意見を共有できたのが良かったですし、且つその後先生からコメントをいただいたのが有り難かったです。演習回も全員に発言の機会が与えられたので緊張感を持ってました。強いて言えば、最後にまとめや振り返りの時間を設けていただき、皆で気づきや改善策などをもっと出していけたら良かったかもしれません。
- ・篠田先生の授業に関しては、財務初心者にとって大変分かりやすく情報量も初心者目線で豊富で有り難かったです。国公立で異なる部分があるため、だから難しいとも思ったのですが、違いを含めて教えていただけたのが良かったです。
- ・木村先生の授業に関しては、研究者視点の授業内容が含まれており、更なる学び(大学院進学やそれ以外の学び)を考えるきっかけになりました。また、純粋に授業内容が興味深いものだったから有り難かったです。
- ・塩田先生の授業に関しては、自分が本講座で最も注目していた大学経営における企画に関する内容を学べたので良かったです。

2.3 必修科目のうち、あなたにとって理解が難しかった(満足できなかった)ものは以下のうちどれですか？
(1人最大5つまで複数回答可)



2.4 2.3 であなたがそのように回答した理由をお書きください。

- ・法令の内容がかみ砕けなかったため。知らなきゃいけないがどのように知ると良いか悩んでいます。
- ・満足できなかったわけではなく、理解が難しかったという視点で上記を選択した。数字の意味を理解することが難しかった。しかし、先生が教えてくださったポイントに沿って、財務部長とディスカッションをしたところ、ずいぶん勉強しているとほめてもらったので、学習効果が表れていたと思う。回答とは関係ないが、アンケートで「理解が難しかった」と「満足できなかった」を一緒にされると回答が難しいと感じた。難しいとは感じたが、満足できなかったわけではないからだ。この結果が各担当者に伝えられることを考えると別にした方が、誤解がないのではと思った。
- ・自学自習に大きく委ねられていたが、時間が取れなかった。
- ・自身が携わったことの無い分野はやはり難しく、話している内容の理解はできても、それを自身の業務に落とし込むところまでは時間がかかりそうに感じました。
- ・繰り返し視聴していますが、自身の苦手分野です。説明は分かりやすいのですが、わかった気になっているだけで実際には業務をしないと身につかない分野と感じています。動画の問題ではなく、個人の問題です。
- ・大学事務組織の演習回は内容的に1回でまとめても良い気がしたのと、所属部署によって回答が異なりすぎるため、意見をまとめる前に、各自の業務内容を知る事が必要だったと思う。大学マネジメント論①は、自分も含め DX/ICT 等の違いをよく分からないまま、皆が議論していた気がします。
- ・大学事務組織・法令論①の講義時間はやや長すぎて、内容をよりコンパクトしてほうが良いと思います。大学事務組織・法令論②と大学マネジメント論の内容が多くて、講義と説明の時間がもう少し長くと、自分の理解ももっと深くなると考えます。
- ・課題が他大学の方に出してよいものか精査するのが難しかったことや、課題と講義回での内容に差異を感じてしまい、講義からつながるところが自分なりに落とし込みにくいものがあったことがあるため。
- ・いずれも内容が盛りだくさんで、自身がなかなかついていけなかった。
- ・質問をしたときに、その質問に対する回答をしてもらえたか(もしくはその質問に対して講演者の軸のある意見を言ってもらえたか)というところがなかった。濁されて終わったなあという気がしたから。
- ・スライド、資料が見にくいものがあった。文字だけなら本や参考書を読めば良いのではと思ってしまった。
- ・優秀な方々のお話ばかりで、優秀じゃない自分にとっては話を飲み込むのに違和感があるものが多かった。
- ・講義のテーマ・課題設定が不明確だったため、講師が受講生に求めていることが読み取りやすいとは必ずしも言えなかったからです。せめて、使用する用語の設定はしてほしいと思う講義回がありました。
- ・講義と課題との関連性に悩んだことと、共感度は高いが実践度で曖昧さが残ったように感じる。等級ごとの具体的戦略を伺いたかった。
- ・組織の変革となると、それぞれの大学の風土や文化を踏まえないといけないと思いますが、自身の大学の組織の変革に活用できるところまで自身の理解が及ばなかったためです。
- ・長山先生の授業に関しては、内容としては大変注目していたので、講義の中でのお話をもっと伺いたかったなと思います。参考資料を沢山提示いただき、それを一つ一つ読みだり見ていくことで全体として情報量がとても豊富でしたし、受講生が自ら調べて学ぶというのが重要であることは事実と思いますが、本講座の性質からは少しハードルが高いように感じました。
- ・各演習回については、講義回と演習回、更には課題と内容の繋がり・関連性においてよく飲み込めなかった部分があることや、第2回目以降の授業回での演習方法で、作業をもっと効率化してよりディスカッションや各受講生が考える時間、先生との交流の時間、まとめや振り返りの時間が増えたら良いと思いました。なお、いずれの授業回も有意義に思っていたことを申し添えます。

2.5 必修科目で追加したほうが良いと思われるトピックがありましたら、そのトピック名と理由をお書きください。

- ・トピックスではないが、それぞれの立場(例えば学長や副学長、事務局長や部長などの管理職など)の理解ができる学習があればよいと考えた。それぞれの立場や環境に身を置かなければ、わからないこともたくさんあると思う(例えば情報統制など)。これらの視点でマネジメントを考えられるようになると、提案の仕方や通し方、管理職が示す態度の意味がより分かるのではないかと考えた。
- ・コミュニケーション力でしょうか……。
- ・業務集約や改革、効率化などを起こすときのケーススタディなどがあると面白いかもしれません。(業務スクラップ論?)実際に動くときの進め方などを各大学違えど、根っこでは共通だと感じたため。
- ・最終トピック内に含まれていた人事制度については、それだけで深く考えたり意見交換するテーマになると思うので、別トピックにしてもよいのではないかと感じた。
- ・大学マネジメント論で、もう少しマネジメントについて掘り下げたトピックがあると嬉しい。例えば、上の立場の人はどういう観点でマネジメントしてどういうふうに通営・経営・企画しているのか、その場合、下っ端に何をどうして大学として同じ方向を向かわせようとしているのか、とか。あとは、コミュニケーションが大切、コミュニケーションが大切ってしきりに「コミュニケーション」って言葉でみんな逃げるけど、そもそもコミュニケーションって何?職場における適切なコミュニケーションを立場的に見てみたり考えてみたりしてもいいと思います。オンラインの意見交換でも思ったけど「飲みみけーション」とか「直接会わないとなんとも…ね…」とか「直接あって話をすれば…」「オンラインだと距離が…」みたいなのがありました。その言葉で逃げるのは令和の時代に沿ってない気がして違和感がありました。「タバコ休憩で情報交換しているんだよ、大切コミュニケーションの場だよタバコ休憩は」って言っているのと同じ匂いがします。コロナ禍を経て、コミュニケーションの方法や在り方も変わってきています。それにとつづく科目が必修じゃなくてもいいからあると面白いかなあと思いました。
- ・2040年問題の統計や、高校との連携、探求学習について。
- ・最近の大学関連のトレンドや国やステークホルダーの大学に期待する内容(教育、研究、地域貢献における大学の役割、荒木先生のお話で出てきた教職協働、DXの深掘り、国の事業など)や、大学の好事例(反面教師として悪い例)など⇒戸村先生はじめ各回に散りばめられていましたが、今と将来を総合的に考える回があってもいいかと思いました。

2.6 必修科目について、どのようなことでも結構ですので、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

- ・教員である私は、事務局の方の本音を聴く機会がありません。この視点からも、今回は良い刺激になった。
- ・教育の質や教員の質、学内規定などの他大学の取り組みなどを質問する機会が欲しかった。
- ・“講義回では基礎を学び、演習回でケースに落とし込んでみる”という流れの中で、講義回の中で個人的な考えや想いが多々見られ、どう理解すべきか悩むこともあった。
- ・基本的には講義を面白く見ていましたが講義の時間をできたら各チャプター20分以内に収めていただけると助かります。逆にとても短すぎると何をみているのかわからなくなるので、もう少しだけ口頭補足などがあると助かりました。
- ・講師の先生のキャラクターが様々でいずれのトピックも大変面白いものであった。演習回で自分たちの意見交換をする時間を長くとっていただけたのはありがたかった(やはり、いくら先生の話といえ、人の話を聞いているだけでは学びは深まらず、どんなことでも自分の口から言葉として発することで新たな気付きを得ることは多いと感じている)。
- ・講師陣の多さや講義内容が多岐にわたり企画・運営がとても大変だったと思うのですが、講義のレベルや時間を統一してもらえたらよかったです。各回でギャップがありすぎのような気がしました。課題でドキュメントの形式で出させて演習でスプレッドシートだと非効率だと思いました。事前にスプレッドシートに記入しておく、までであると良かったと思います。
- ・担当する講師が異なるためやむを得ないと思いますが、プログラムを通じたそれぞれの講義での一貫性がもう少しあれば良いかと思われました。
- ・何も知らない状態から受講したので導入の講座としては大変満足でした。各科目のみを掘り下げる講座の開設があれば是非受講したいです。
- ・講義回については、例えば戸村先生式が標準で、そこに各先生独自のやり方を加える、というような、時間配分や回数、受講生への問いかけ、先生側の講義(話す時間)の長さなど、一定程度の統一感があると良いのかなと個人的には思いました。先生方のオリジナリティに面白さを感じる一方で、濃淡が過剰になると受講生の満足度に差が出てしまうように思われました。
- ・演習回については、更に良くなる余地があると思っており、前述の通り、講義回でインプットし、且つ受講生自身が調べたり振り返ったり考えたことを課題にアウトプットし、更に演習回で共有し発展的な意見が出し合えるような、繋がりが更に分かりやすいものになると良いと思います(特に課題と演習回の繋がり)。
- ・また、グループディスカッションにおいても、作業部分は事前に準備が可能だと思います(実際、第4回の演習回時は、スプレッドシートに予め書き込む受講生が多く見られました)、第4回時のように事前に各受講生が提出した課題を共有いただけると、それ自体が受講生の事前学習となり、ディスカッションがスムーズに開始できると思いました。
- ・作業で使うツールを、ドキュメント(課題)からスプレッドシート(演習)に変える点や、課題で書いた内容の概要を考えてスプレッドシートに書き込むことなどは、作業時間が増えてしまい時間が取られてしまうのが非効率に感じました。
- ・それから、演習回時には、ディスカッションを通して各受講生の日々の仕事の悩みや課題を相談し合うみたいなことも発生していて、それ自体は有意義だったのですが、演習回内容とは別にプラスアルファでそういう時間があると良かったように思いました。個人の感想としては、演習回内容自体で1時間半、演習回のみとめや全体の振り返りプラス受講生同士の雑談時間や先生への質問や先生と話せる時間(授業内容のみならずそれ以外の内容を含む)等の時間に30分の計2時間でも良いのではないかと思いました。

2.7 自由科目(大学経営人材開発論)について

| | とても良かった | 良かった | あまり 良くなかった | 全く 良くなかった | 参加していない |
|-----|---------|------|---------------|--------------|---------|
| 第1回 | 6% | 94% | 0% | 0% | 0% |
| 第2回 | 25% | 63% | 0% | 0% | 13% |
| 第3回 | 19% | 50% | 0% | 0% | 31% |
| 第4回 | 0% | 81% | 6% | 0% | 13% |
| 第5回 | 31% | 31% | 0% | 0% | 38% |
| 第6回 | 13% | 56% | 0% | 0% | 31% |
| 第7回 | 56% | 25% | 0% | 0% | 19% |
| 第8回 | 25% | 44% | 13% | 6% | 13% |

2.8 自由科目(大学経営人材開発論)について、どのようなことでも結構ですので、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

- ・それぞれのキャリアの話を受けて大変参考になった。そして刺激にもなった。特に佐藤先生のお話は、普段、議論にも上がらない視点がたくさんあってワクワクした。本学でどれだけ検討できるかは別として、自身の興味関心に合わせて引き続き思考したいと思う。
- ・登壇されていた職員の方々が、皆さん非常に意欲的にキャリアを歩まれていたことを知り、大変感銘を受けました。
- ・人材開発論は各講師のキャリア紹介が主であったので、先にテーマがあると質問を考えることができ良いと思いました。または、同一質問を設定しているようなキャリアの方からの見解を聞き、比較できても見識が広がったのではと感じました。
- ・同じ分野で活躍されている方々の仕事の進め方やメンタリティなどを学ぶことで、自分が大学事務として目指すべき理想像を毎回考えながら受講できた。
- ・興味のある内容の時は、参加させていただきました。事前に資料をいただくおかげでそういった判断ができました。設置形態や働き方によって大きく内容が異なるので、まさに十人十色なキャリアを見せていただいたと思います。
- ・多くの方の大学職員としての変遷を聞かせていただく機会は他にはないので、毎回楽しみに参加していた(自身の経歴だけに話が終始してしまっていた回もあったが)。それぞれの方がどのように学び、どのようなことを考えて今に至ったのかを聞かせてもらえて面白かったし、新しい学びのコンテンツを教えてもらえたりして有意義であった。ただ、必修・自由科目共通だが、当初の設定時間が徐々にあつてないようなものになり、次の予定にかぶってしまったり、何時に終わるかわからず予定が立てにくくなってしまったりしていたので、講座として時間できちり区切っておしまいにしてもらえると、更によかったと感じている。折角の機会なので、お時間のある限り…というのはとてもよくわかるし、有難いことではあるのだが、大学の授業であつたらそうはならないし、時間内にちゃんと自分の聞きたいことをまとめたり、相手から話を引き出すことも大切だと思うので、時間で区切られても問題ないと感じている。
- ・安田さんのお話は良かった。スライドも見やすかった。うまくいかなかったことも背景に話してくれていたり、具体性があつた。
- ・アンケート項目に「どちらでもない」を追加してほしいです。
- ・多様なキャリアを歩まれたみなさまのお話を伺うのはとても刺激になりました。
- ・率直な現場のお話を聞くことが出来て良い意味で意識改革となつた。
- ・他大学の職員の方のキャリアや考え方を聞くことができる機会というのは少ないため、非常に貴重な機会でした。質問についても自由にできて、自由科目担当者も詳しく回答してくださつたため、一般的な研修では受けることのできない内容だつたと思います。自由科目担当者の強みや得意分野について様々質問したかつたのですが、私自身が知識・経験不足なために前日または当日に資料を確認し、当日の話を聞くだけではなかなか考えがまとまらずに質問ができなかつたため、資料等をもう少し早いタイミングで共有していただけたら嬉しかつたです。
- ・自由科目の講演者のお話は、様々な生き方やキャリアや考え方を学ばせていただき、自分ならどうしたいかを考える機会となり大変貴重に思いました。一方で、各回に統一したテーマとは何であつたのかよく分からず、大学経営自体を取り上げて話される方も全員ではなかつたため、彼らの話を伺うことで受講生にどんな時間を提供いただけているのかは自分には分かりづらかつたです。また、自由科目でのグループディスカッションでは、グループメンバーが変わることで自分は混乱が生じた部分もありました(グループメンバーも事前にプロフィールを見てどこの所属かなどを把握した上でディスカッションに臨んでいたためですが、これは完全に主観的な感想です)。各講演者の方々とは、率直な日々の悩み相談などの意見交流をしたいと思いつつ、彼らの発表内容から外れた質問や感想を述べるのも気が引けて、いずれの回でも手を挙げるができなかつたので、そこは自分自身の反省点です。

今後の学びについて

3.1 講座受講のインパクト

| | とても そう思う | そう思う | あまり 思わない | 思わない |
|---------------------------------|-------------|------|-------------|------|
| 大学の現場で活用できる力を身に付けることができた | 31% | 50% | 19% | 0% |
| 受講により、自身のキャリアにおける課題が明らかになった | 31% | 50% | 19% | 0% |
| 受講により、今後の学びに関する自分なりの方向性が明らかになった | 38% | 44% | 18% | 0% |
| 受講により、今後も自分なりに学びを継続したい気持ちになった | 75% | 25% | 0% | 0% |
| 受講により、大学院進学を検討したい気持ちになった | 25% | 38% | 6% | 31% |

3.2 3.1.であなたがそのように回答した理由をお書きください。

- ・この講座を受講することで、会議の内容や学長や事務局長(常務理事)の発言等の意味が今まで以上に深く理解できるようになったので、学習効果を実感している。学習効果が実感できたことでモチベーションが上がったため、上記のように回答した。すでに、専門領域の博士課程は修了しているが、今回、経営に関連する修士課程への進学を考えた。
- ・業務や自身の研究において、大学の全体像がつかめず困っていたため、大変助かりました。これまでの、高等教育、大学運営・経営に関する重要な答申等も概括して頂いたことも大変ありがたかったです。一方で、当方は元々、自身のキャリアには特に課題意識はもっていないこと、既に大学院(別の分野ですが)は卒業しており再入学は予定していないことから、当該質問については低めに回答しました。一方で、海外大学で大学職員のキャリア(第三の領域)を研究されている先生から、共同研究のお声掛けを頂き、来年、客員研究員としてご一緒させて頂く可能性が出てきました。本講座を受講させて頂いた成果と思います。
- ・大学を取り巻く環境について考える機会となり、多くの学びを得ることができました。様々なタイプ・規模の大学関係者と意見交換できたことで、多様な状況を理解することができたと思います。一方で本学は研究<教育の、地方の中小規模大学ということもあり、国公立や大規模大学と同じグループで話すと感覚の違いを顕著に感じ、参考にしづらい内容も多々あったと感じました。
- ・大学院進学を薦められている雰囲気には違和感を感じました。大学の学びは大学院の学びの基礎講座でしょうか？
- ・間違いなく知見は広がったが、すぐに活かせるほど身に付いていないのが現実で、まだまだこれから時間をかけて経験と知識を増やしたいと思っている。
- ・基礎講座として設置いただいたおかげで、自分の中にもともとあった方向性のスタート地点とすることができたように感じたためです。
- ・大学院進学が自身に向いているかどうかを考えるきっかけにもなった。自由科目内で講師の先生がおっしゃっていたことだが、私自身長いスパンでの研究よりも、こういった講座での学びの方が性に合っているように感じ、これからの学び方や学びたいことの方向性についてしっかり考えていきたいと感じた。
- ・具体的に職場へ活用できる部分は少ないと感じた一方で、他の受講生がかなりの努力をされていて私ももっと勉強続けて頑張りたいとなあというきっかけになったから。
- ・様々な大学の、同じような意思を持つ職員とともに学び、交流ができたからです。
- ・圧倒的な知識不足を痛感させられたため、学び続けて業務に応用したい。
- ・これまででもそうでしたが、学びが増えるとそれ以上にわからないことや知らないが増えるため、今後も学び続けたいという意欲が増す一方です。しかしながら、私自身がどういった方向に向かって学びを深めていけばよいのかについては、受講前よりさらにわからなくなったのが正直な感想です。この講座で学んだ内容を独学でとなると、この講座にかけた時間以上の膨大な時間がかかるだろうと考え、今後学び続けるにあたって、ずっと独学よりは大学院進学も視野に入れた方がよいのではないかと強く思うようになりました。ただ、この講座では大学院進学にあたっての情報はあまりなかったため、別途大学院進学希望者に対する交流会や情報交換会があると嬉しかったです。
- ・まずは本講座を受講する目的であった、自分が全く未経験で無知である大学経営分野の知識や考え方、心構えなどの基礎的内容を学び修得できたと思っています。その上で、今後は情報収集や関係する研修や公開講座等への参加をすることで今の自分の状態を維持し、将来的に大学経営分野の業務を担当したり現在や以降に所属する部署で自分ができることを考えてやっていきたいと思いました。また、学問的に興味を持ってたため、自分の人生設計次第ですが、学会加入や大学院進学なども視野に入れつつ過ごしたいと思いました。

3.3 今後の学びに関して、今回の大学経営基礎講座を前提とした大学経営応用講座を新たに開講するとした場合、あなたは参加されたいと思われますか。内容や実施形態も含めて、自由にご意見をお寄せいただくと幸いです。

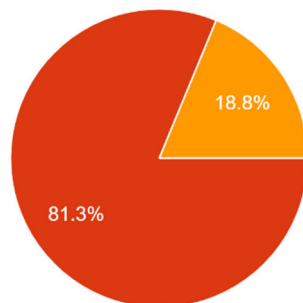
- ・今回のように zoom であれば、受講したいと思う。内容は、経営にかかわる立場になった時に教育と経営をどのように折り合いをつけるのか、全体マネジメントの考え方、長期的な経営戦略の方法、トラブル処理等が含まれる講座だと受講してみたいと思う。
- ・応用講座はまさに大学院レベルになるのでしょうか。基礎講座もそれなりにボリュームがあったので、応用となると、受講には更に負荷がかかって来るのだろうと拝察いたします。負荷をかけて活動するのであれば、「講座受講」ではなく、「学会活動」のほうが、自身の活動

実績になるので良いかと思います。なお、講座ということであれば、基礎講座の受講を通じ自学できる素地は作れたので、応用講座は、内容に依りますが、業務との兼ね合いで受講は難しいかもしれません。

- ・大学の閉鎖的な組織体制を改めて感じる受講機会でした。改善は長期的に考えていきたいと思いますが、モチベーションを維持し、改善活動が続いていることを報告する場があるとありがたいです。実施形態は今回と同様で、動画の視聴時間のみ少しご配慮をいただきたいです。初回にて自身の課題を決めて、毎月演習回後に報告提出。または応用編で少人数開催をご検討される場合には人材論の部分を受講生のキャリアの棚卸を兼ねた自己紹介時間としてはいかがでしょうか。
- ・現時点何とも言えませんが、内容が似たような講義であれば参加しない可能性の方が高いかもしれない。基礎講座の内容がしっかりと身につけてからでない講師に失礼と感じてしまうのと、自分がもう少し大学事務の経験を積んでから参加したいと思うので。応用ということで、ケーススタディで実践を積んだりするのであれば、ウェブでなく対面形式もあった方が、職員同士の理解度や温度感を感じながら、学習できると思う。個人的には今後も継続的にスキルアップに励みたいと思うので、業務に余裕のある期間であれば、どんどん積極的にこのような講座を受講していきたい姿勢ではある。
- ・是非参加したいと思います。できれば集合型で、短期集中で行って頂きたいです。
- ・今回の延長線上ということであれば参加したいと考えます。中々大学のことを学ぶ機会も多くはないのと、オンライン参加なのはとても柔軟ですので、良いと思いました。
- ・ぜひ参加したい。また、応用講座であれば、2か月に一度でもよいので対面で実施されるとなおよい。オンライン上の意見交換は慣れてきたものの、やはり対面に勝るものはないと感じている。内容としては、未だ基礎的な知識しかないので、基礎的なものでも良い。
- ・講座があったらもちろん受講したいと思います。しかし、今回と同程度の内容(クオリティ)で、かつ同額もしくはそれ以上の金額がかかる場合は、補助等がなければ受講しようと思いませんし、自分以外の職員、部下にも勧めないと思います。実施形式についてはオンラインで良いと思います。
- ・私費であっても是非参加したいと思います。
- ・参加したい。可能であれば対面でのディスカッション形態にいただき、今回の必修講座のより具体的な講座を希望します。
- ・是非参加させていただきたいです。実施形態については、大学経営基礎講座と同様にオンデマンドとオンラインの併用であると、業務の都合がつけやすいため非常に嬉しいです。ただ、頻繁にはなく数回であれば対面実施があっても良いかと思います。
- ・何かしらの形で学びを継続していきたいとは思いますが、応用講座がもし開講されるならば受講を検討したいなと思います。

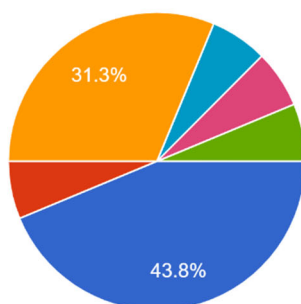
大学経営基礎講座の受講料について

4.1 受講料についてあなたはどのように思われますか。1つお選びください。



- この講座内容であれば、もっと高くても良い
- この講座内容であれば、この金額が適切だ
- この講座内容であれば、もっと安くするべきだ

4.2 受講するにあたって、受講料はどなたが負担されましたか？



- ご本人の自己負担
- ご本人の研究費
- SD研修費
- 上記の組み合わせ
- その他
- 自身が運営するプロジェクトへの外部からの寄付金
- 医学部長の裁量経費
- 法人負担

4.3 貴学・貴社では外部機関の研修を受講するにあたり、何かしらの支援制度がありますか？差し障りがなければご教示ください。

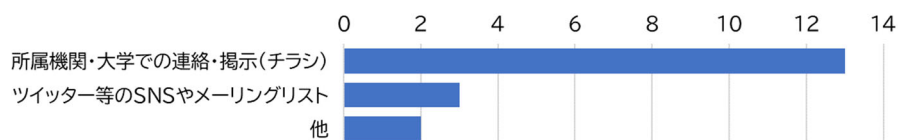
- ・特になく、その都度判断される。
- ・職員は 20000 円/1 人の研修費が予算化されている。教員は研究費が支給されている。しかし、今回の受講は研究費の対象外である。
- ・弊学では、教職員・学生の活動に関して、幹部会議で必要性が認められれば、独自の資金を使用させていただきます。
- ・外部研修について、認められれば補助が出ます。
- ・部署によって大きく異なります。SD・FD 主催部署へ異動したため、今回は恩恵を受けました。
- ・スキルアップ制度ということで、事務職員は3万円/年を上限に支援を受けることができます。ただし、今回は自分の業務の運営にあたり、知識を付けると同時に、お互いの大学状況を聞き合えるような仲間を増やしてほしいということで、全額経費で支援いただきました。
- ・研修は年に一度、上限が 10 万円であります。
- ・私どもの学校法人では、個人研修費として、年度に 45,000 円が使えます(後で手続きをして受給)。
- ・受講費の援助。
- ・部署で研修費の予算をとっている場合は、上司の判断により受講料を負担してもらうことが可能です。大学として研修費を負担する場合は、会議にて審議され、会議資料にて全教職員に情報共有され、かつ受講後に報告書の提出が必要となります。
- ・自主的な研修等受講に対し、受講申請の一ヶ月前までに申請承認された場合、30,000 円を上限に大学から補助を受けられる(一人年に一回まで)。

4.4 受講料についてご意見がございましたら、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

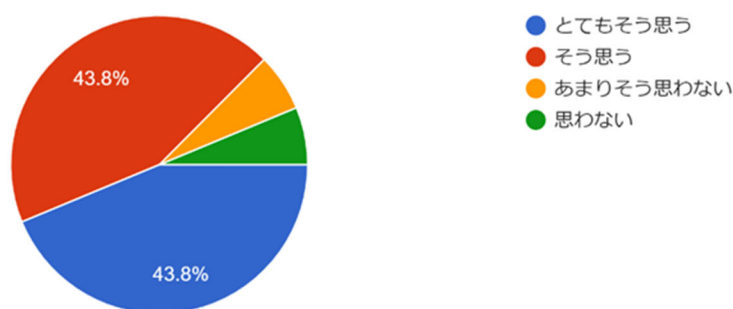
- ・受講料の絶対額としては高くないと思いますし、非常に多くの方が登壇者として関与されているので、そのことに比して、費用は低廉に押さえられているかと思います。一方で、価格と内容との妥当性に関しては、大学教員としてご活動されている方とそうでない方との授業力(動画を含め)にかなり差があるように感じました。
- ・オープンバッジ単価を考え、サポートまでを考えると妥当と思います。
- ・自分の努力不足もありますが、知識というより考え方を学ぶような印象も残ったため、個人的に求めていた知識習得という観点からすると、金銭的に満足できたとは言えなかった。
- ・できたら 5 万円以内ですともう少し参加しやすい気もしていますが、受講者数をコントロールするには、ある程度のシグナリングにつながった気もしますし、受講者のスクリーニングにもなる気がしています。
- ・半額でも大学から支給されれば大変ありがたいのだが、自額の予算状況を見るに今後もまず無理だと思う。となると、内容的に8万円は妥当(安いくらい)なのだが、生活的に8万円が一気に出ていくのは厳しく、受講の大きなハードルになると思う。本講座は各大学の学長たちにも注目されていると聞くので、大学間でフォローする仕組みなどができて、自大学から推薦して受講させる(かわりに費用は持ってもらえる。が、最終発表会みたいなのを学内でやること。)ような形にしてもらっても良いのではないかなと思う。
- ・今後の若手の職員育成のためにも東北大学で実施するのであれば、せめて東北大学の教職員なら大学から補助が出るように人事課に掛け合ってもらいたい。
- ・様々な意見があるかと存じますが、このようなプログラムへの参加は、ある程度身銭を切らないと継続して取り組めないのではないかと個人的には思います。
- ・受講前は高額に感じていましたが、受講後には妥当な金額であると思いました。
- ・受講料自体に意見はないですが、受講生の所属機関が積極的に支援し受講しやすいよう整備されるとよいと思います(本講座が置かれている東北大学さんは尚更…と思いました)。

広報他

5.1 この講座をどのようにして知りましたか。(複数回答可)。



5.2 この講座を同僚や知人に勧めたいと思われますか。



その他

6 最後に大学経営基礎講座に関して、どのような点からでも結構ですので、ご自由にご意見をお聞かせください。

- ・1の自由記述で記載した通りです。大変お世話になりました。ここでの学習を今後も活かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・大変充実した講座設計で、運営もきめ細やかで、さすが履修証明プログラムとして開催される講座はすごいと思いました。また、登壇者の方々に加え、受講者の方々も非常に意欲的で、自大学でやる気のある職員の方々にも是非勧めたいと思いました。なお、当方も将来、自身の分野で履修証明プログラムを実施できればと思っておりますが、今回受講させて頂いて、かなり仕込みやマンパワーが必要そうだとということが分かり、その点からも非常に勉強になりました。
- ・大変ためになる内容で、参加できてよかったと思っております。今回初開催とのことでしたが、次回以降ある場合は11月までで終わるスケジュールですとより参加しやすいかと思いました(12月はどの大学も法人部門は忙しいと思うので…)。
- ・自大学だけの問題と認識していたことが、大学特有の問題であったこと。自費受講の方も多く、大学へ還元する意識があるからこそ参加された受講生なので、とても勉強になりました。つい悲観、否定をしてしまいがちなことに対して、講師の先生方が講座の端々でアドバイスをくださったと認識しています。学内にも同志がいなか、また阻害要因をどうかわすかなど、自大学でどうするかを考えるきっかけをいただきました。自分自身が定年退職をする時期に現在と同じ課題を抱えていないことを目指して、学内に人脈を広げたいと思います。長続きするよう自分も楽しめるもので、年度内に学内での炊き出し(胃袋を手中に収めるところから)を企画してみたいと思います。
- ・まずは企画や運営いただき本当にありがとうございました。大学職員になって3年目の私でも何とかついていけました。戸村先生を始め事務局の皆さんの支えがあったからこそ、こうして最後までやり遂げることができました。講義を通して、具体的な業務や課題を知れた他、受講生も自分と同じような疑問や不満を抱えていることを目の当たりにでき、これからより一層努力したいと思えました。せっかくできた繋がりを活かしながら、引き続き皆で学習していければ嬉しいです。今後も本講座のような募集があれば情報をいただけますと幸いです。今回は本学の職員向け掲示板をたまたま見た時に、最上段にあったため、応募させていただきましたが、今後も自分に合うようなものがあれば、積極的に受講検討したいと思います。
- ・とても素晴らしい講座でした。ありがとうございました。
- ・もう少し先生も含めて受講者との交流があるととても刺激的だったと思いますし、受講生側である私たちからも google classroom にチャットのできる板を作成しておくことを提案しておけばよかったと思いました。とても貴重な時間を過ごさせていただき、大学経営について演習を通じて知識の定着ができてと感じています。ありがとうございました。
- ・大学経営について、興味はあるが何から学んでよいかわからない、という職員はとても多いのではないかと感じている。そういった層にとって、この講座は大変意味のあるものであり、基礎講座の名のとおり、まず知っておきたいことが網羅されている講座であった。こういった講座がテーマ別に開講されてもいいと思う。突然の大学院進学は、ミスマッチを起こす可能性もあるので、こういった講座は学習初心者にとって大変ありがたいものであり、今後もぜひ続いてほしいと思う。今、半年前に受講を決めた自分を褒めたい気持ちです。
- ・4か月間、ありがとうございました。開催期間中、生意気なことばかり言って申し訳ございませんでした。今後のより一層のご活躍を心より応援しております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。
- ・戸村先生・塚部様を始め本プログラムの運営に関わった皆様には本当に大変だったかと存じます。今後とも引き続きどうぞよろしくお願い致します。
- ・受講の機会をいただきありがとうございました！
- ・受講できて本当によかったと思っております。少しレベルが高いように感じた部分もありましたが、一般的な研修では受けることのできない内容であったと思いますし、講師の皆様が様々なことを考えてこの講座をつくってくださったことが感じられて、とても良い刺激になりました。今後も講師の皆様や受講生の皆様のご縁を大切に学び続けたいと思いますし、今後のキャリア形成にあたってアドバイスをいただけると非常に嬉しいです。今後ともよろしくお願い致します。
- ・今回本講座を受講して、全国レベルで見ると、大学経営に興味を持って受講される方や、受講生の方の御所属元が本講座に期待して受講を勧めている様子が窺え、自分は一人じゃないんだなと思えたことも、受講してよかった点でした。また、本講座では大学経営の基礎を学べるため、採用初期の職員や若手職員に広まってどんどん受講してほしいと思いますし、その所属元の機関も職員育成に係る研

修の一環として活用して行ってほしいと思います。更には、大学経営に興味がないとか自分は関係ないと思っている教員や、或いは所属元の機関が経営に参画する教員として見込んでいる教員にも受講してもらえるといいなと思いました。今後も本講座がより良いものとなり、受講される方が広がっていくと良いなと思います。有難うございました。

・今回のように zoom であれば、受講したいと思う。内容は、経営にかかわる立場になった時に教育と経営をどのように折り合いをつけるのか、全体マネジメントの考え方、長期的な経営戦略の方法、トラブル処理等が含まれる講座だと受講してみたいと思う。